

2015年(平成27年)7月31日(金) NO 88号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

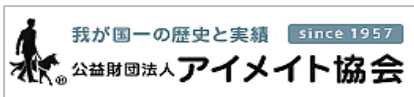


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



ごあいさつ



私が尊敬してやまない経営者「堀場製作所の堀場雅夫最高顧問」が、7月14日永眠されました。享年90歳でした。
私が所属する川口モーニングロータリークラブ(以下RC)の姉妹クラブに京都モーニングRCがあります。京都モーニングRCには子息の堀場製作所会長兼社長の厚さんが所属しています。5周年毎に式典を行い、その際、お互いが行き来をします。堀場雅夫さんと初めてお会いしたのは8年前。式典が終わったパーティーの席でした。勇気を持って一人で恐る恐るご挨拶に行きました。次年度、幹事になる旨を告げると、ふわふわとしたパンのような手で包み込んでくれ、とても喜んで迎え受けてくれました。……瞬でファンになった瞬間です。
その5年後も、会長になる旨を告げ、私が誘って入会してくれた若い会員2名の紹介をすると、またしても大層喜んでくれたものでした。私がRCを好きになった理由に堀場雅夫さんの存在が大きく影響しているのはそのためです。堀場雅夫さん、おもしろおかしく生きられましたね。
心からご冥福をお祈り申し上げ、そしてお礼申し上げます。 代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話 「捨てると強くなる」

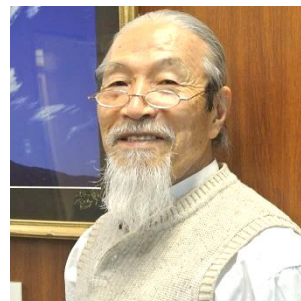


少し前に私のところに全国でも有名な競輪選手が来たんです。その人は初めの頃レースの途中ですぐ落車するんですね。なぜかと言うと、その人はずーっと勝ちたいとっていて、競輪というのは勝ちにいくと、人と競わないといけないから、隙を狙って相手を追い抜こうとする。すると、すごく邪魔をされるそうなんです。だから力はあるのにずーっと勝てないでいたし、落車すると骨折したり怪我をしてしまう。

大怪我をしたら競輪をやめないといけないから、私のところに相談にきたのです。

——それで、先生はなんとお答えになられたんですか？

勝ちを目指すのではなく、勝つことを棚上げして呼吸法を身につけて、「きょう一日いい走りしよう」と決めて流れを見てごらんと。それから彼は勝負に勝とうとするのではなく、とにかく自分のベストを尽くして、その中で勢いの流れを見ることに努めました。そのために瞑想と呼吸法を身に付けたら、ある時から勝てるようになったんですね。



前と何が違うかといったら、彼はレース中にずーっと流れの隙間が見えるようになった。そしてその隙間に導かれるように自分が入り込めるようになって、気がついたらいつの間にかトップになっていると。そして争ったり人を落とし込んで勝とうとしていた時は、みんなから嫌われていたそうなんです。



しかし自然に勝てるようになった時には、競争心を捨ててベストを尽くし、勝負の最中でもただ自分のいいものを出そうとして勝っているから、「彼なら仕方ないね」と逆に皆に尊敬を受けるようになっていたと言います。人間性がすごく高まったんですね。己を捨てるってなかなか難しいんだけど、

自分の中にある「勝ちたい」とか「儲けたい」「威張りたい」という心をどう除くか。

////////////////////////////////////

北川 八郎氏（陶芸家）

1944年福岡県生まれ

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「師弟関係はここから始まる」

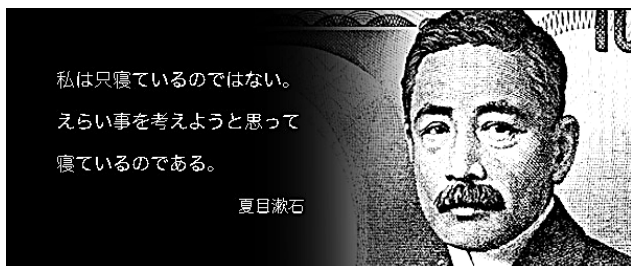
その生徒は4年生でクラスの級長だった。
初めて教室に入ってきた漱石は赤い靴を履いていた。
だから、「赤靴」というあだ名がつくはずだったが、
結局つかなかったそうです。
なぜか。
それは漱石の学力に圧倒されたからだというのです。

漱石はすーっと入ってきて教壇に上がるや、
英語のテキストを開いて読み出した。
そしたら、その発音があまりに見事で生徒たちはびっくりしたそうです。
その頃のテキストは数学でも何でも原書が多く、
日本人の先生はジャパニーズ・イングリッシュで読むわけです。
ところが、漱石はネイティブに劣らない発音で読む。
これに生徒は圧倒されるのです。

この授業では、続いて級長の彼が当てられ、
読んで訳すように命じられる。
そこで読んで訳したところ、
一カ所だけ訳が間違っていると指摘を受けた。
生徒は、この単語は予習のとき、
字引で調べたもので間違いはないはずだと答えると、
漱石は「では字引が間違っているから、
その字引を訂正するように」と応じたといいます。
こうして生徒たちの間には
今度の先生はすごいという評判が立ち、「赤靴」というあだ名を引っ込めたというのです。



これなんですよ。
「この先生すごい」と生徒が感じたところから、
師弟関係は始まるのです。
生徒が何一つ圧倒されるものがなくて、教育が成り立つはずはありません。
そんなもの、形式は整っていても似非(えせ)教育ですね。



占部 賢志氏 (中村学園大学教授)
1950年福岡県生まれ

記事提供 到知出版社

事件ファイル NO88

消火器を撒く少年

日時 平成 27 年 7 月 17 日 (金) 00 時 36 分ごろ

場所 埼玉県草加市松原団地駅付近

件名 愉快犯・器物損壊および盗難

内容

雨宿りをするためか、マンションエントランス前に 5 人の少年が集まり、そのうち 1 名がエントランスのガラスに貼ってあったパウチで作成した貼り紙を用い、それを自動ドアの隙間に差し込み、感知器を強制的に感知させ、開錠し建物内に侵入した。

その直後、いきなりエントランス内に備え付けて消火器を噴射させたもの。

少年は証拠隠滅のためか、そのまま消火器を持ち去り逃走した。

対応策

自動ドアの内側感知エリア設定の変更

自動ドア中間部の隙間をなくす隙間プレート等の貼付(滑りづらいゴム製のものがお勧め)

建物外側にパウチで作成した掲示物等は貼らない



プロ太の小話集

NO88

『 神社にて 』

受験生 「神様・・・どうか〇〇大学に合格させて下さい」

神様 「何でもするか？」

受験生 「はい、何でもします」

神様 「では、勉強なさい」



//////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

「おもしろいと疲れない」

おもしろく仕事をすれば疲れない。だからおもしろく働くことこそ、人間の自然な姿。仕事は苦痛という考えは間違っている。

苦しいなら工夫して、おもしろくしたらいい。

生前、堀場雅夫さんが語っていた言葉で、「おもしろおかしく」は堀場製作所の社是になっています。

こんな素敵な方と出会え、ご指導いただけたことは私の生涯の無形の宝になっています。



注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)